

第 103 回大腸癌研究会

遺伝性大腸癌診療ガイドライン作成委員会 議事録

- 日時：令和 2025 年 7 月 3 日（木）13：00-13:25
- 場所：会場：ザ・グランユアーズフクイ（ホテルフジタ福井） 3F 天山 3
- ハイブリッド開催（会場+Web）
- 出席者（五十音順、敬称略、*Web 参加）：〔委員長〕田中屋宏爾、〔委員〕山口達郎、平田敬治、山田真善*、秋山泰樹、石丸 啓、岡本耕一*、川崎優子*、隈元謙介、小峰啓吾、重安邦俊、高雄暁成*、高雄美里*、高見澤康之、谷口文崇、千野晶子、張 萌琳*、土井 悟、中島 健、中守咲子*、檜井孝夫*、藤吉健司、堀松高博*、三口真司、水内祐介、宮倉安幸、武藤倫弘*、吉岡貴裕*〔アドバイザー〕富田尚裕、石田秀行〔その他の参加者〕宮崎麻衣（金原出版）、赤羽慎太郎、石川敏昭、井上健、大木悠輔、大平 孝、岡田 聡、門松雄一郎、櫻井紀子、佐々木和人、佐藤圭佑、島田能史、志村匡信、下村 学、鈴木陽三、須藤剛、主藤朝也*、田中裕太郎、谷 優佑、問山裕二、中野麻恵、野上 仁、長谷川誠司、深瀬正彦、藤島史喜、母里淑子、山口瑞生〔欠席〕坂元 慧、柴田良子、嶋本有策、下平秀樹、関根茂樹、竹内洋司、田辺記子、中山佳子、長寄寿矢、蓮見壽史、阪埜浩司、増田健太
- 報告事項
 1. 前回議事録 委員長から報告があった。
 2. 委員名簿 委員長から 2025 年 6 月 23 日現在の委員の報告があった。
 3. 会計報告 委員長から、入金として大腸癌研究会からの補助金など、出金として、英語版投稿用の英文校正などが報告された。
 4. 2024 年版正誤表 委員長より、英語版の準備中に修正点が指摘され、大腸癌研究会の HP や施設代表者のメーリングリストでアナウンスしたことが報告された。 資料
 5. 「臨床外科」誌「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024 年版 改訂のポイント」委員長よりガイドライン紹介記事の掲載が報告された。
 6. 英語版投稿の進捗状況 委員長より、IJCO 誌に投稿済みで、現在、リバイズ中であることが報告された。
- 審議事項
 7. 次期 ガイドライン構成、編集体制
委員長より、ガイドラインの構成について、遺伝性大腸癌診療ガイドラインから、リンチ症候群を独立させることなどが検討されていることの報告があった。
 8. 2024 年版ガイドラインからの引用
山口委員より、講演や発表などでガイドラインの図表などを引用するときに、金原出版社に許可を申請するよう注意喚起があった。

文責：田中屋宏爾

資料 2024 年版 正誤表のアナウンス

大腸癌研究会 HP へ掲載 2025.04.30



2025/04/30 「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版」の<正誤表>を掲載しました。



遺伝性大腸癌診療ガイドライン

大腸癌の数%を占める遺伝性大腸癌は、これまで大腸癌や大腸ポリープの濃厚な家族歴、若い頃からの発癌などの特徴から診断されてきました。さらに、近年では、個々のがん患者さんに適した治療薬を判定したり、新たな薬物療法を探したりするための遺伝子検査がきっかけで診断される機会も増えています。

一方で、遺伝性の癌でも、発生にはライフスタイルなどの環境要因が大きく影響することが知られており、日本人のデータと、わが国の医療事情に基づいた指針が必要です。

そこで、代表的な遺伝性大腸癌である家族性大腸腺腫症とリンチ症候群に焦点を当て、大腸癌研究会で行った多施設共同研究などの結果や、わが国の医療事情をもとに、医療関係者や患者さん・ご家族に、的確な診断、治療方針と予防策をお届けしています。

「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版」発刊のお知らせ

「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版」が発刊されました。

※「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版」
主な改訂点は[こちら](#) >>

(2024年7月17日)

※<正誤表>を掲載しました
 正誤表 (2025年3月24日)



研究会編集図書

書籍名をクリックすると書籍詳細が別ウィンドウで表示されます(外部リンク)。

書籍名	発行所	刊行年月
 患者さんご家族のための遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2025年版	金原出版株式会社	2025年5月
 大腸癌治療ガイドライン医師用 2024年版 ※「大腸癌治療ガイドライン医師用 2024年版」 主な改訂点はこちら >>	金原出版株式会社	2024年7月
 遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版 ※「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版」 主な改訂点はこちら >> ※<正誤表>を掲載しました  正誤表 (2025年3月24日)	金原出版株式会社	2024年7月
 炎症性腸疾患関連消化管腫瘍診療ガイドライン 2024年版	金原出版株式会社	2024年7月

<正誤表>PDF

正誤表

『遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024 年版』第 4 版第 1 刷（2024 年 7 月 20 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2025 年 3 月 24 日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正																																																
18	表 I-1	<table><tr><td colspan="2">鋸歯状ポリープ</td><td>SPS</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>HMPS</td></tr></table>	鋸歯状ポリープ		SPS			HMPS	<table><tr><td>鋸歯状ポリープ</td><td>SPS</td></tr><tr><td>混合性ポリープ</td><td>HMPS</td></tr></table>	鋸歯状ポリープ	SPS	混合性ポリープ	HMPS																																						
鋸歯状ポリープ		SPS																																																	
		HMPS																																																	
鋸歯状ポリープ	SPS																																																		
混合性ポリープ	HMPS																																																		
23	I-2-1 1 行目	遺伝性大腸癌は遺伝学的検査により確定診断を行う	一般に、遺伝性大腸癌は遺伝学的検査により確定診断を行う																																																
26	I-2-2 STEP 3 1 行目	遺伝性大腸癌の確定診断は遺伝学的検査によって行われる。	一般に、遺伝性大腸癌の確定診断は遺伝学的検査によって行われる。																																																
59	表 II-6	<table><tr><th colspan="2">Grade</th><th>発生部位</th><th>最大径</th></tr><tr><td colspan="2">1</td><td rowspan="2">腹腔外*</td><td rowspan="2"><10cm</td></tr><tr><td>2</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td>any</td></tr><tr><td colspan="2">3</td><td rowspan="2">腹腔内</td><td rowspan="2"><10cm</td></tr><tr><td></td><td>B</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td>≥10cm</td></tr></table>	Grade		発生部位	最大径	1		腹腔外*	<10cm	2	A		B		any	3		腹腔内	<10cm		B				≥10cm	<table><tr><th colspan="2">Grade</th><th>発生部位</th><th>最大径</th></tr><tr><td colspan="2">1</td><td rowspan="2">腹腔外*</td><td rowspan="2">≥10cm</td></tr><tr><td>2</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td>any</td></tr><tr><td colspan="2">3</td><td rowspan="2">腹腔内</td><td rowspan="2"><10cm</td></tr><tr><td></td><td>B</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td>≥10cm</td></tr></table>	Grade		発生部位	最大径	1		腹腔外*	≥10cm	2	A		B		any	3		腹腔内	<10cm		B				≥10cm
Grade		発生部位	最大径																																																
1		腹腔外*	<10cm																																																
2	A																																																		
	B		any																																																
3		腹腔内	<10cm																																																
	B																																																		
			≥10cm																																																
Grade		発生部位	最大径																																																
1		腹腔外*	≥10cm																																																
2	A																																																		
	B		any																																																
3		腹腔内	<10cm																																																
	B																																																		
			≥10cm																																																
96	下から 4 行目	(1) 早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外、	(1) 大腸癌におけるリンチ症候群の除外、																																																

以上

大腸癌研究会 施設代表者メーリングリスト配信

JSCCR Online Information Vol.106 2025.5.1

(JSCCR オンライン情報 Vol.106 2025.5.1)

【訂正とお詫び】『遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024 年版』について

関係各位

拝啓

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび刊行いたしました『遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024 年版』におきまして、一部内容に誤りがあることが判明いたしました。

現在、金原出版様と協議のうえ＜正誤表＞を作成し、大腸癌研究会ホームページに掲載しております。ご確認いただきますようお願い申し上げます。

ご利用いただいている皆様および関係者の皆様には、多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

今後はより一層の確認体制を整え、再発防止に努めてまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和 7 年 4 月 30 日

遺伝性大腸癌診療ガイドライン作成委員会 田中屋宏爾

大腸癌研究会ホームページ

<https://www.jscqr.jp/index.html>